

社会教育の充実について（昨年度からの経過報告）

総合教育会議資料：中央公民館

社会教育を充実させるために、令和3年4月1日から中央公民館に社会教育指導員が2名配置されました。
また、中央公民館の事務室も移動し、執務スペースが広がりました。

	事業名	事業の目的	東日本大震災前の状況 (平成22年度末)	令和2年度 (10月末時点)	令和3年度 (10月末時点)	令和4年度以降の取り組み	社会教育指導員の役割
		社会教育指導員の配置	3名	1名	2名	3名(予定)	
1	子ども及び親子を対象とした特別企画講座	子ども達や親子の絆づくりと体験型の学びの機会を作ること。	開催数 115回 参加人数 のべ1,608人	開催数 0回 参加人数 0人	開催数 13回 参加人数 のべ196人	各公民館において開催数を増やして実施予定	企画立案、実施及び各公民館の支援
2	小学生を対象とした「わくわく出前授業」	小学生を対象として公民館活動を知ってもらうこと。また体験型の学びの授業を行うこと。	令和3年度から実施	—	磯部小、山上小、大野小、教育実践センター（ふれあい広場）で実施	各小・中学校において継続して実施予定	企画立案及び実施
3	学校新聞などの掲示	地域住民に小中学校の様子を知ること、学校に親しみを持ってもらうこと。	令和3年度から実施	—	小中学校の学校新聞や向陽中の生徒新聞を公民館に掲示	継続して実施予定	学校に依頼
4	成人を対象とした特別企画講座	生きがいづくりと知識や教養を学ぶ機会を作ること。	開催数 129回 参加人数 のべ1,991人	開催数 24回 参加人数 のべ201人	開催数 41回 参加人数 のべ404人	各公民館において開催数を増やして実施予定	企画立案、実施及び各公民館の支援
5	2021相馬市子ども科学フェスティバル	子ども達へ科学の面白さを知ること、興味を持ってもらうこと。	令和元年度から開催 企業、団体から34ブース出展、 参加人数 約1,400人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	10月31日「そうま市民まつり」と同時に開催予定 企業、団体から13ブース出展	単独開催予定 企業、団体から30程度の ブース出展を目標とする。	実行委員会及び ブース出展者との調整
6	そうま市民セミナー	市民に対して知識や教養を学ぶ機会を作ること。	市民講座として開催 参加人数 約100人	「豪雨と猛暑」を演題に 市民会館多目的ホールで開催 参加人数 20人	「笑いと健康」を演題に 中央公民館で開催 参加人数 29人	開催会場を拡大し 継続して実施予定	企画立案及び実施
7	子どもの学びサポート事業	サポートボランティアによる 子ども達への学習支援 (歴史、文化、音楽、地理など)	平成29年度から実施	依頼件数 10件 実施回数 16回 講師派遣数 のべ47人	依頼件数 12件 実施回数 22回 講師派遣数 のべ30人	各小・中学校において 継続して実施予定	学校とサポートボランティア を繋ぐコーディネーター
8	地域との交流	世代間交流を図る。	令和3年度から実施	—	老人クラブに対して中村二中の生徒が花いっぱい運動の植付け手伝い。	継続して実施予定	老人クラブと学校を繋ぐ コーディネーター
9	閉じこもり予防ネットワークの構築	閉じこもり高齢者を公民館活動に参加させて、生きがいをつくること。また地域住民との繋がりを持ってもらうこと。	令和3年度から実施	—	閉じこもり高齢者に各公民館の特別企画講座に参加してもらうため 声かけと実施計画の作成	各公民館において継続して実施	公民館と閉じこもり高齢者を 繋ぐコーディネーター
10	地域ふれあい敬老会	高齢者を地域住民で祝うことで、 地域住民の繋がりを深めること。	各公民館で開催	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	各公民館において再開予定	実行委員会の支援
11	学習発表会	公民館における市民の活動の成果を 発表し、学習意欲の向上を図る。	各公民館で開催	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止または開催を検討中	各公民館において再開予定	実行委員会の支援